

えひめ農林水産業振興プラン2021（農業編）の進捗概要（令和3年度）

【基本施策① えひめ農業を担う「人づくり」

～えひめ農業を支える担い手を確保・育成します～

- 令和2年度は、新規就農者（40歳未満：自営＋法人）を137人確保したものの、目標である「毎年180人確保」には届かなかったことから、令和3年度は、農業内外から担い手を更に確保するべく各種施策を推進しました。
- 地域をリードする女性農業者を確保・育成するため、「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」メンバーを令和2年度から13名増の127名に増強しました。
- 次世代の担い手への円滑な経営継承を促進するため、（公財）えひめ農林漁業振興機構からの専門家派遣を支援し、100経営体に対し指導・助言を行いました。
- 農業に力強く取り組む13市町・25経営体の認定農業者に対し、トラクターやハウスなどの機械・施設整備を支援しました。
- 県内で1,030名のみかんボランティアや、県内外から23,724人役のみかんアルバイトを確保しましたが、前年に比べ減少したため、今後は更なる労働力の確保に努めます。

【基本施策② えひめ農業で輝く「モノづくり」

～競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます～

- 多様な担い手の規模拡大・所得向上につながる生産基盤整備を推進するため、災害に強く生産性の高い園地に再編する「再編整備・再編復旧」を計9地区で推進しました。
- 農業水利施設の長寿命化と機能強化を推進するため、豪雨時に湛水被害を防止する排水機など、計41地区の基幹的水利施設で保全対策工事を実施しました。
- 令和元年産の柑橘収穫量は全国1位となっており、令和3年度も、「柑橘王国えひめ」を支える果樹産地の更なる発展を目指し、高収益化に必要な機械・施設整備の支援を計13地区で実施するなど、柑橘王国としてゆるぎない地位を維持すべく各種施策を推進しました。
- 所得向上が期待される県産加工品種「ひめの凜」の高品質生産を推進し、一等比率90%を達成しました。
- 収益性の向上に向けた野菜の生産体制強化に向け、いちごやさといもなど計9産地で、規模拡大や高品質化に必要な機械・施設整備を支援しました。
- 愛媛の魅力を世界に広げるため、輸出力を強化し、県が関与した県産かんきつの輸出量は過去最大の107.2トン（前年度比：28%増）に増加しました。
- 農薬、化学肥料等を低減した農業や有機農業など環境にやさしい農業の拡大に向け、エコファーマー認定者数を468名、エコえひめ農産物の認証を197件確保しましたが、前年に比べ減少したため、今後、更なる拡大に努めます。
- 動植物防疫措置の強化に取り組むため、豚熱の発生防止に向け、91戸の農家が飼養する豚・イノシシに予防的ワクチンを接種しました。

【基本施策③ えひめ農業を支える「地域づくり」

～競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます～

- グリーン・ツーリズム体験メニューを活用した体験者が140千人に上るなど、地域の魅力を活かした多様な交流を促進しました。
- 匠の技・郷土料理・文化を次世代に伝承するため、えひめ食文化普及講座を開催し、小学校、中学校、高等学校等36校、延べ723人に伝承しました。
- 住民交流や魅力発信など地域の活性化につながる地域住民主体の取組を促進し、地域が目指す将来像の実現に向けた道筋等をまとめた「ふるさと保全計画」を5地区（完成3地区、継続2地区）が策定しました。
- 荒廃農地の発生防止や解消につながる取組を実施し、人・農地プランの実質化が332/420地域（進捗率79%）まで進んだほか、担い手への農地集積率も34.2%となるなど、今後も、地域の実情に合った荒廃農地対策を実施します。
- 農村の防災・減災対策を推進するため、地すべり等防止施設の整備・保全（16地区）や、ため池耐震対策（19地区）などを実施しました。